コンミューン

〈斗争委ニュース改題〉No.2

文学部斗争委員会
宣伝局発行
7.6

全学友の固いスクラムのもと大塚封鎖、全学ストを！

25日より展開されている文自治会のバリケードストライキ、本館封鎖の斗いは、今やはっきりと全学友の支持と、決起をかちとりつつある。この斗いの高揚という現実は、文自治会に投げかけられてきたいくつかの中傷もしくは曲解を、事実をもって粉砕し尽した。教授調査費計上決定撤回、評議会団交めざして斗うすべての学友は、今、二つの努力をなさねばならない。ひとつはこの斗いをさらに広め、全学ストによる決起をもってこの大塚全域を我々のバリケードをもって封鎖することである。又ひとつは我々のたたかいの質を不断に高め強めることである。文学部のストが昨年のスト以上の力量と形態をもって斗かわれているということは、即ち我々のスト＝決起の内容が、研究教育体制の独占資本への従属の途＝研究学園都市に対決し、それに対する教授だの個別利害に立脚する不毛な論議とその結果たるツーキャンパス論とを根本的に批判したところを明らかにしている。

農理の学友のスト突入という時点にあって今、全学統一集会が計画されている。文斗争委も4日斗争委総会において、この確認をしている。ところが、その意義ある企てが、今日いくつかの点において困難に逢着した。即ち、ひとつは農理のあいさつとして旧平民学連系の基盤の上に昨年〝結成〟された「部学連」を加えるというような要求が教理農体自治会（新行部）から強く主張されているのである。職組、院協もこれに同調していたが、学友の追求により、基本的に学生次元で決定すべきとその態度を明確化した。そのたくらみについて否定的見解を出した4日の斗争委総会の意向を承知しながらも、なお固執する一部の学友の態度が、みてとられる。さ統一のその枠を予めせばめるものであることはいうまでもない。又集会の議長団、基調報告の中に、文自治会を加えるという斗争委総会の意にもとづくもの―この間の文学部の斗いを全面否定するなら別だが―要求に対して、これまたかたくなに拒んでいる諸君がいることも報告しなければならない。

登校された学友諸君！

文斗争委は、前述した二点の斗いの要請、大塚封鎖と全学スト、そして全学の斗う主体の意志の一致強化ーを果すために、本日7月6日、文学部斗争委は、全学の学友と連帯した集会を徹底的に追求する。我々の前に道はひとつしかないのだ。全ての勝利を目指す学友は、文斗争委と力強く連帯しようではないか！ 特に教育学部の学友諸君！ 甘い「展望」や幻想と訣別し、今こそ、文理の学友と、ここ大塚における斗いにたとう！、既成の運動路線を粉々に打ち砕き、我々の新たな秩序をうちたてよう！ 斗いの高揚が必然的に要請する連帯と統一を、まったくの形式論によって妨害せんとする諸君は、この斗う学友の圧倒的隊列のもとに、自己批判をし、自らをこの渦の中にたたしめよ！

：我々はともに手を結び斗おうではないか、更なる連帯と前進を！！

専攻図書室を自主管理しよう！

現在四年生を中心に起っている専攻図書室開放の要求に沿って、いくつかのクラスですでに防衛がもたれた（日本史etc.）しかし、責任がもてない等の口実により、今の所その要求は容れられていない。管理局、四建協は専攻に図書管理委員会をつくり、全クラスにわたってこの運動を盛り上げることを提起している。

本日のスケジュール

11:00〜 文学部総決起集会 G501
12:30〜2:00 全学統一集会（予）
2:00〜 クラス討論、合同クラス討論
6:00 までに、一日のクラス総括を！
6:30〜 斗争委員会 於 G406

（明日日曜日登校 街頭カンパ活動、バリゲード死守！）

連続講座予定〈3:00〜5:00 G406〉
8日（月）「現代における科学技術の諸問題」
講演 ＝講師未定＝
9日（火） 五大学斗争交流集会
（慶応大、早大、横国大、東洋大、教育大）

★すべての四年生は四建協に結集し斗う隊列を固めよう（連絡センター G403）

〈6.7統一集会メイン・スローガン〉

調査費計上決定撤回！ 学長・五学部長・評議会団交実現！ マスター・プラン委員会解散！ 6.10評議会決定撤回！